

じゃらん宿泊旅行調査 2023【旅行市場動向編】

旅行需要は若年層を中心に回復

宿泊旅行実施者は44.2%、延べ宿泊数は2018年度比で▲16.5%

個人旅行における宿泊費は増加傾向



株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）の観光に関する調査・研究、地域振興機関『じゃらんリサーチセンター』（JRC、センター長：沢登 次彦）は、全国1万5,572人の宿泊旅行者を対象に「じゃらん宿泊旅行調査 2023」を実施しました。この調査は、観光などを目的とした宿泊を伴う国内旅行実態（出張・帰省・修学旅行などを除く）を調べるもので、今年で19回目となります。2022年度（2022年4月～2023年3月）の主な結果は以下の通りです。

国内宿泊旅行実施率、延べ宿泊旅行者数、延べ宿泊数推計（→P3）

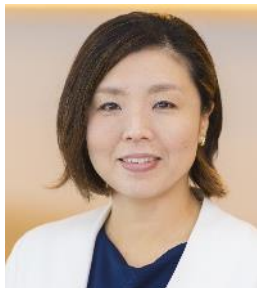
- 2022年度に国内宿泊旅行を実施した人は44.2%。コロナ前の2018年度と比べて、12ポイント差まで回復。旅行実施者における年間平均旅行回数は2.88回と調査開始以来、過去最高値を記録。延べ宿泊数は2億2049万人泊となり、3年ぶりの2億人泊超え。2018年度比で▲16.5%。若年層の回復が早い傾向が見られる。

国内宿泊旅行の費用総額（→P4）

- 国内宿泊旅行にかけられた費用総額は、推計7兆5296億円。2021年度比で60.8%増、2018年度比では▲12.9%にまで回復。1回の宿泊旅行にかかった費用は平均6万2,400円、個人旅行における宿泊費は平均1万9,900円で、年々増加傾向にある。

国内宿泊旅行の同行者（→P6）、宿泊のタイプ（→P7）

- 同行者は「親連れ家族旅行」「友人との旅行」などが回復し、コロナ禍で進んだグループサイズの最小化に歯止めがかかり、複数人旅行への揺り戻しがみられる。宿泊のタイプでは「1泊2食つき」が41.5%で最も多くを占めるが2021年度から2回連続して減少傾向にあり、コロナ以降は「素泊まり」（27.3%）の割合が増加する傾向に。



JRC 主席研究員
森戸 香奈子

《解説》費用に見合う顧客満足度を獲得し、業界の体質改善へ

コロナ禍を乗り越え、国内旅行市場は順調に回復途上にあると言えます。旅行に行く人における平均回数は過去最高値を記録し、延べ宿泊数もコロナ前の2018年度の数値が見えてきました。他方、宿泊費においては、食事のつかない素泊まりが増える傾向が見られる一方で、増額傾向にあります。つまり宿泊単価は明確に上がり続けているわけですが、ここ数年の物価高も併せて考えると気になる傾向ではあります。業界における喫緊の問題である宿泊施設の人手不足を解消するためには、サービスの高付加価値化を実現し、従業員のサラリーへ還元していく必要がありますが、同時に高い顧客満足度を維持しなければなりません。金額に見合うサービスを提供し、お客さまの期待に応えることを忘れてはならないでしょう。

本件に関する
お問い合わせ先

<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

◎調査方法 インターネットによる調査

■1次調査

- ①調査目的 全国の宿泊旅行実施者を抽出することに加え、性・年代別の宿泊旅行実施率を知るために実施した
- ②調査時期 2023年4月1日（土）～2023年4月21日（金）
- ③調査対象 全国18～79歳の男女（株式会社マクロミルの登録モニター）
※2023年調査より、18歳・19歳を追加し調査対象者の年齢範囲を拡大している
- ④配信数 232万2,266件
- ⑤調査内容 2022年度（2022年4月～2023年3月）1年間の国内宿泊旅行（出張・帰省・修学旅行などを除く）実態
- ⑥回収数 8万3,500件（回収率3.6%）
- ⑦集計対象者 2万件
※2次調査において都道府県別、性・年代別の割り付けに合った回収が得られるように配信した
 - ・配信数と割り付けについて
2次調査のセル別目標回収数は、「令和2年 国勢調査」の都道府県別、性・年代別の人口におおむね従うように47都道府県を5ランクに分けサンプル数を割り付けて配信した
ランクごとに6:5:3:2:1の割合で、合計約1万5,400件の回収を目標とした
 - ・2次調査の配信数について
ウェイトバック値のバランスをなるべくそろえるために、県別に均等割り付けではなく、ランクを設けて割り付けを行った上で、1次調査および追加調査の旅行実施者3万2,573件を都道府県ごとに分配し、サンプル数を割り付けて配信した
※回収された8万3,500件のうち都道府県別、性・年代別に割り付けを行い2万件を抽出
性・年代別宿泊旅行実施率を算出

■2次調査

- ①調査目的 全国の宿泊旅行実施者に対して、宿泊旅行の内容を知るために実施した
- ②調査時期 2023年4月7日（金）～2023年4月21日（金）
- ③調査対象 3万2,633件（うち、同居家族モニター60件）
 - ・1次調査において、「昨年度1年間に国内宿泊旅行をした」と回答した人：3万2,573件
 - ・追加調査において、「昨年度1年間に国内宿泊旅行をした」と回答した人のうち、調査協力が得られた60歳以上の家族本人：60件
※調査回収難度が高い60歳以上の回収数を増やすために追加調査を実施した
追加調査は株式会社マクロミルの登録モニターのうち60歳以上の家族と同居しているモニターを対象として、該当家族が同席する上で回答という条件で実施した
(回収数6,839件<配信数13万2,454件 回収率5.2%>、2次調査対象者数60件)
- ④配信数 2万5,421件（うち、同居家族モニター45件）
※配信数は対象者の中から都道府県別、性・年代別の割り付けに合わせてランダムに抽出した
- ⑤調査内容 昨年度1年間に実施した全ての宿泊旅行（出張・帰省・修学旅行などを除く）の行き先と回数について、また一人最大3件までの個別宿泊旅行について、具体的な内容を調査した
- ⑥回収数 1万5,629件（回収率61.5%）
- ⑦有効回答数 1万5,572件（うち、同居家族モニター33件）
（旅行件数ベース3万469件）

2022年度の1年間に宿泊旅行(※1)を実施した18～79歳の割合は44.2%。2021年度より約10ポイント増
 加し、コロナ前の2018年度と比較すると、その差は12ポイントまで縮まった。実施者における年間平均
 旅行回数は2.88回と過去最高値、1回の旅行当たりの平均宿泊数は1.82泊であった。実宿泊旅行者数の推
 計値は4189万人、延べ宿泊旅行者数(※2)は1億2064万人回と3年ぶりに1億超え。延べ宿泊数(※3)は2億
 2049万人泊となり、2021年度比で45.7%増。3年ぶりの2億人泊超えとなり、2018年度と比較して
 ▲16.5%まで持ち直した。性・年代別では若年層の回復が早く34歳以下の宿泊旅行実施率は5割以上。

■ 延べ宿泊旅行者数の推計方法

	人口	調査結果			推計値		
	R4年10月1日 現在推計人口 (万人) <A>	宿泊旅行 実施率 (%) 	宿泊旅行実施者の 年間平均旅行回数 (回) <C>	宿泊旅行実施者の 1回の旅行あたり 平均宿泊数(泊) <D>	実 宿泊旅行者数 (万人) A*B	延べ 宿泊旅行者数 (万人回) A*B*C	延べ 宿泊数 (万人泊) A*B*C*D
(2022年度) 全国18～79歳男女	9,479	44.2	2.88	1.82	4,189	12,064	22,049
21年度との差→		10.1	0.29	-0.01	1,013	3,833	6,911
				21年度比→	31.9%	46.6%	45.7%
				18年度比→	▲21.1%	▲18.4%	▲16.5%
(2021年度) 全国20～79歳男女	9,319	34.1	2.59	1.83	3,176	8,231	15,138
(2020年度) 全国20～79歳男女	9,388	31.2	2.48	1.75	2,925	7,256	12,687
(2019年度) 全国20～79歳男女	9,388	53.6	2.70	1.80	5,031	13,575	24,393
(2018年度) 全国20～79歳男女	9,408	56.4	2.78	1.78	5,310	14,777	26,416
(2017年度) 全国20～79歳男女	9,438	55.6	2.78	1.76	5,244	14,556	25,646
(2016年度) 全国20～79歳男女	9,475	54.8	2.77	1.76	5,188	14,358	25,308
(2015年度) 全国20～79歳男女	9,498	56.4	2.86	1.75	5,358	15,313	26,903
(2014年度) 全国20～79歳男女	9,520	56.9	2.79	1.68	5,420	15,110	25,397
(2013年度) 全国20～79歳男女	9,557	57.5	2.84	1.60	5,491	15,599	24,972
(2012年度) 全国20～79歳男女	9,598	55.8	2.71	1.61	5,354	14,505	23,445
(2011年度) 全国20～79歳男女	9,646	57.6	2.64	1.63	5,561	14,686	23,987
(2010年度) 全国20～79歳男女	9,672	56.7	2.73	1.64	5,489	15,020	24,686
(2009年度) 全国20～79歳男女	9,653	60.3	2.79	1.65	5,819	16,239	26,778
(2008年度) 全国20～79歳男女	9,688	63.1	2.84	1.68	6,110	17,355	29,235
(2007年度) 全国20～79歳男女	9,707	63.8	2.83	1.69	6,196	17,514	29,604
(2006年度) 全国20～79歳男女	9,686	64.7	2.77	1.69	6,269	17,366	29,325
(2005年度) 全国20～79歳男女	9,722	66.1	2.78	1.72	6,424	17,875	30,856
(2004年度) 全国20～79歳男女	9,707	65.4	2.73	1.68	6,350	17,343	29,024

- ※1 宿泊旅行：国内での宿泊を伴う旅行で、出張・帰省・修学旅行などを除く。ただし、友人・知人宅、車中泊、キャンプなど宿泊施設を利用しない場合でも宿泊を伴う旅行であれば含める
- ※2 延べ宿泊旅行者数(万人回)：推計人口×宿泊旅行実施率×宿泊旅行実施者の年間平均旅行回数
- ※3 延べ宿泊数(万人泊)：延べ宿泊旅行者数×宿泊旅行実施者の1回の旅行当たり平均宿泊数
- ※ 宿泊数の設問形式を2014年度から変更。主なエリアの宿泊数と他エリア、他の都道府県の宿泊数を分けて尋ね、それぞれ合算して平均宿泊数を算出。よって、2013年度以前の平均宿泊数、延べ宿泊数(斜体の部分)は直接は比較できない参考値
- ※ 人口について次の統計値を用いて調査を行っている。2020年度においては推計時未発表だったため、R1年の推計値を使用した

2022年度：R4年10月1日現在人口推計	2021年度：R3年10月1日現在人口推計	2020年度・2019年度：R1年10月1日現在人口推計
2018年度：H30年10月1日現在人口推計	2017年度：H29年10月1日現在人口推計	2016年度：H28年10月1日現在人口推計
2015年度：H27年国勢調査<速報>	2014年度：H26年10月1日現在人口推計	2013年度：H25年10月1日現在人口推計
2012年度：H24年10月1日現在人口推計	2011年度：H23年10月1日現在人口推計	2010年度：H22年国勢調査<速報>
2009年度：H21年10月1日現在人口推計	2008年度：H20年10月1日現在人口推計	2007年度：H19年10月1日現在人口推計
2006年度：H17年10月1日現在国勢調査人口	2005年度：H16年10月1日現在人口推計	2004年度：H15年10月1日現在人口推計

■ 性・年代別宿泊旅行実施率の推移

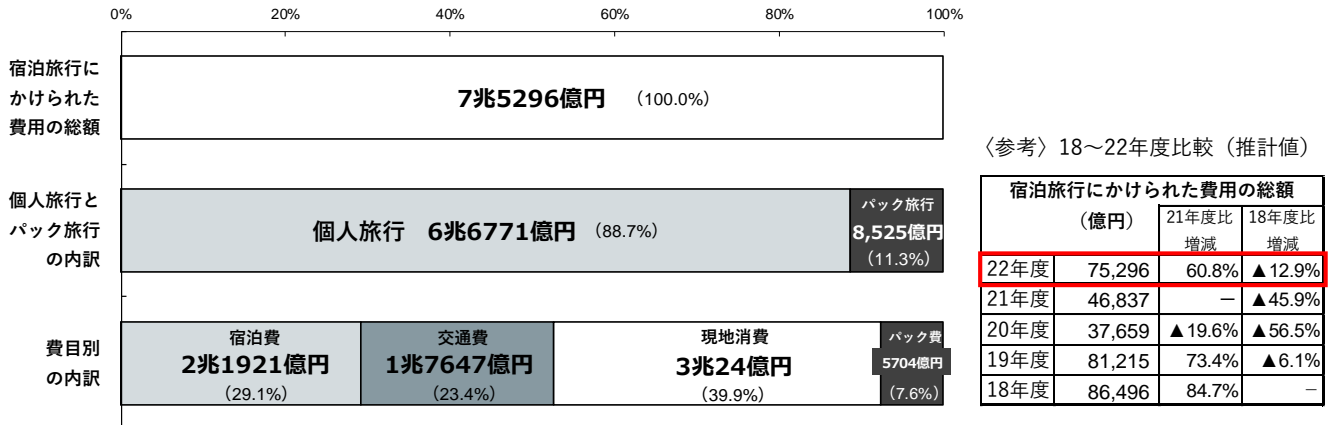
	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
全国18～79歳男女	65.4	66.1	64.7	63.8	63.1	60.3	56.7	57.6	55.8	57.5	56.9	56.4	54.8	55.6	56.4	53.6	31.2	34.1	44.2
18～34歳 / 男性	62.5	61.4	61.0	61.8	60.6	57.0	53.2	57.2	52.8	51.3	54.1	53.8	51.7	54.8	56.2	55.1	35.7	39.1	50.0
18～34歳 / 女性	68.0	66.7	67.1	66.3	66.8	65.0	61.3	64.0	62.3	64.0	64.3	61.9	60.3	60.5	64.3	61.4	39.1	43.9	56.2
35～49歳 / 男性	61.9	62.2	60.4	60.1	59.6	56.9	53.6	53.0	51.8	53.1	53.7	53.4	52.0	53.3	53.5	53.5	31.4	33.3	42.0
35～49歳 / 女性	62.6	64.8	61.5	58.9	58.7	57.8	53.6	55.9	53.7	56.3	55.3	54.8	53.8	55.5	56.2	52.1	27.1	31.0	43.4
50～79歳 / 男性	63.8	67.4	64.8	64.7	63.2	59.9	55.1	55.9	54.4	57.6	56.2	55.6	55.0	54.7	54.8	51.4	30.2	33.0	42.4
50～79歳 / 女性	70.3	69.7	69.2	67.3	66.5	63.1	61.2	60.2	59.0	60.3	58.5	58.6	55.6	56.1	56.8	52.9	29.2	31.4	39.9

※ 今年度より成人年齢の引き下げにより調査対象を成人18歳以上に変更している。2021年度までは、調査対象が20歳以上で、網がけの部分はそれぞれ「全国20～79歳男女」「20～34歳 / 男性」「20～34歳 / 女性」の結果である。

国内宿泊旅行の費用総額

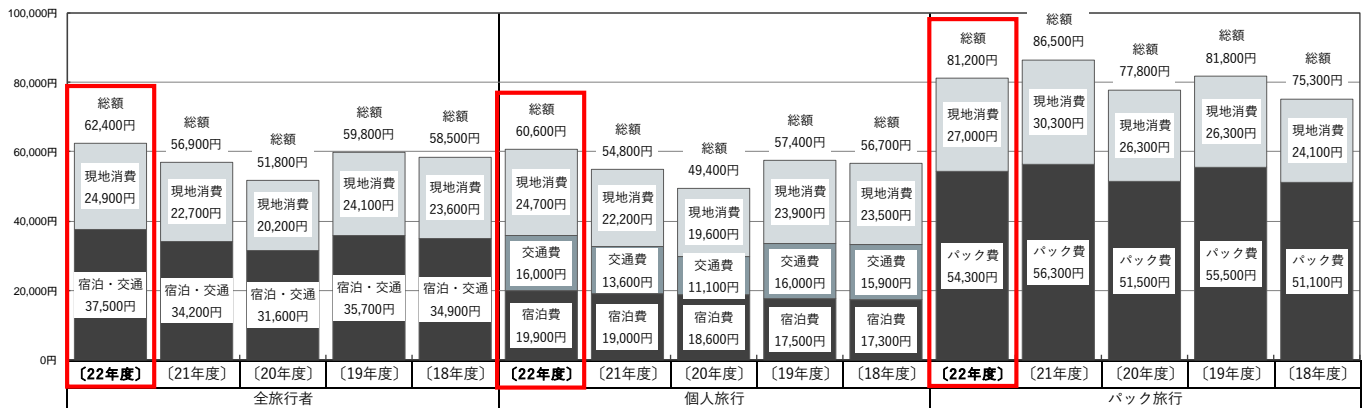
国内宿泊旅行にかけられた費用総額は、推計で7兆5296億円。2021年度比で60.8%増。2018年度比では▲12.9%まで回復した。1回の宿泊旅行にかかった費用は平均で6万2,400円で、過去最高値となった。内訳を見ると、宿泊・交通費が3万7,500円で2021年度より3,300円増加、現地消費額が2万4,900円で2,200円増加。特に個人旅行における増加が目立ち、総額では平均6万600円で2021年度から5,800円の増加、宿泊費は単価1万9,900円で、年々微増傾向にある。

国内宿泊旅行にかけられた費用総額（推計値）



1回の宿泊旅行にかかった費用（大人一人当たり）

※金額については、百の位までの四捨五入で示しているため、合計が合わない場合がある



1回当たりの個人旅行の宿泊費、1泊当たりの宿泊費（大人一人当たり）

	22年度	21年度	20年度	19年度	18年度
個人旅行の宿泊費 (円)	19,900	19,000	18,600	17,500	17,300
1泊当たりの宿泊費 (円)	13,400	13,300	13,600	12,000	11,900

※ 1泊当たりの宿泊費は、1回の旅行の宿泊費を宿泊数で割って算出
 ※ 金額は百の位までの四捨五入で示している

〈参考〉18～22年度比較

<全国の宿泊旅行費用総額の推計方法>

- ①集計データより全国の性・年代別の個人旅行とパック旅行の延べ宿泊旅行者数を推計
- ②全国の性・年代・手配方法（個人orパック）別の旅行費用の平均値（単価）を算出
- ③全国の性・年代・手配方法別の延べ宿泊旅行者数に単価を乗じ、性・年代・手配方法別の費用総額を算出
- ④性・年代別の費用総額の結果を積み上げて全国の宿泊旅行費用総額を算出

大人一人当たり (円)	21年度比	18年度比
22年度	62,400	9.7% 6.7%
21年度	56,900	— ▲2.7%
20年度	51,800	▲9.0% ▲11.5%
19年度	59,800	5.1% 2.2%
18年度	58,500	2.8% —

※ 1回の宿泊旅行にかかった費用（大人一人当たり）・・・1回の宿泊旅行にかかった費用について、個人旅行の場合、一人当たりの宿泊費・交通費・現地消費の合計。パック旅行の場合、一人当たりのパック費・現地消費の合計。
 18歳未満の子供を連れた旅行の場合は、全員でかかった費用を同行した大人の人数で割っている
 ※ 個人旅行・・・個人で宿を手配した旅行で、旅行会社を通して宿を手配した場合も含む
 ※ 現地消費・・・旅行中に、現地で消費した費用の合計。買い物、飲食、体験・観光、移動など、28項目の中で、実施した行動の費用の合計を指す。ただし、宿泊プラン・ツアーに含まれていた費用は除く

都道府県別の延べ宿泊旅行者数と居住地別の県内旅行率

都道府県別の延べ宿泊旅行者数が最も多かったのは東京都、次いで2位に北海道。3位の大阪府は2021年度の倍近い旅行者数を獲得し2ランクアップ、4位の神奈川県、6位の京都府、10位の沖縄県など人気観光地を擁するエリアが順位を上げた。大阪府、9位の福岡県は2018年度比の増減率が10%未満で戻りが早い傾向がある。ブロック別では関東への増加が多いが、2018年度比でみると回復途上にあることが分かる。また、都道府県別に増加率を比較してみると、宮崎県や佐賀県では2018年度を上回る結果となった。

■ 都道府県別の延べ宿泊旅行者数（推計値） ※上位10都道府県

全体							増減傾向	
2022年度 推計値		順位変動	2021年度 推計値	2020年度 推計値	2019年度 推計値	2018年度 推計値	22-21	2022年度←18年度 増減率
全国	12,064万人		8,231万人	7,256万人	13,575万人	14,777万人	+	▲ 18.4%
1位 東京都	1,131万人	←	1位 647万人	2位 430万人	1,447万人	1,573万人	+	▲ 28.1%
2位 北海道	898万人	←	2位 608万人	1位 526万人	1,091万人	1,134万人	+	▲ 20.8%
3位 大阪府	729万人	↑	5位 382万人	7位 282万人	739万人	809万人	+	▲ 9.9%
4位 神奈川県	561万人	↑	6位 373万人	5位 347万人	584万人	705万人	+	▲ 20.5%
5位 静岡県	558万人	↓	4位 406万人	3位 373万人	665万人	733万人	+	▲ 23.9%
6位 京都府	555万人	↑	7位 365万人	6位 301万人	549万人	623万人	+	▲ 10.9%
7位 長野県	487万人	↓	3位 414万人	4位 351万人	630万人	693万人	+	▲ 29.7%
8位 千葉県	474万人	←	8位 302万人	10位 249万人	510万人	619万人	+	▲ 23.4%
9位 福岡県	468万人	←	9位 293万人	11位 208万人	515万人	496万人	+	▲ 5.6%
10位 沖縄県	454万人	↑	11位 284万人	9位 265万人	474万人	533万人	+	▲ 14.8%

■ ブロック別の延べ宿泊旅行者数増減（2022年度 - 2021年度 / 2018年度推計値）

	宿泊先ブロック								
	北海道ブロック	東北ブロック	関東ブロック	甲信越・北陸ブロック	東海ブロック	関西ブロック	中四国ブロック	九州ブロック	沖縄ブロック
全体	898	1,017	2,988	1,389	1,409	2,109	1,192	1,467	454
21年度	608	775	1,902	1,089	962	1,311	808	1,014	284
20年度	526	741	1,576	996	854	1,129	774	886	265
19年度	1,091	1,191	3,488	1,735	1,586	2,188	1,279	1,559	474
18年度	1,134	1,294	3,931	1,842	1,705	2,424	1,424	1,616	533
22年度-21年度	290	243	1,086	300	447	798	383	453	170
22年度-18年度	-236	-277	-943	-453	-296	-315	-233	-149	-79
(21年度との差)									
北海道ブロック	67	9	47	10	7	23	9	6	1
東北ブロック	27	43	108	20	10	33	8	15	7
関東ブロック	114	115	418	154	185	196	84	122	83
甲信越・北陸ブロック	6	16	85	-6	31	49	12	11	3
東海ブロック	11	8	130	34	103	100	57	33	20
関西ブロック	41	28	139	58	79	201	105	61	27
中四国ブロック	17	19	63	15	21	87	71	57	9
九州ブロック	10	7	86	11	11	101	35	137	4
沖縄ブロック	-2	-2	10	4	-1	9	2	11	16

※ブロック別増減/+100万人以上：網がけ黒文字 ※全体増減/-300万人以上：網がけ白文字、+300万人以上：網掛け黒文字

※1回の旅行において複数の都道府県に宿泊した場合、それぞれの都道府県に旅行回数1回とカウントしているため、各県の延べ宿泊旅行者数の全体に対する構成比を足し上げると100%を超える

※一人当たり1年間に行った全ての旅行回数を尋ねた結果から推計している

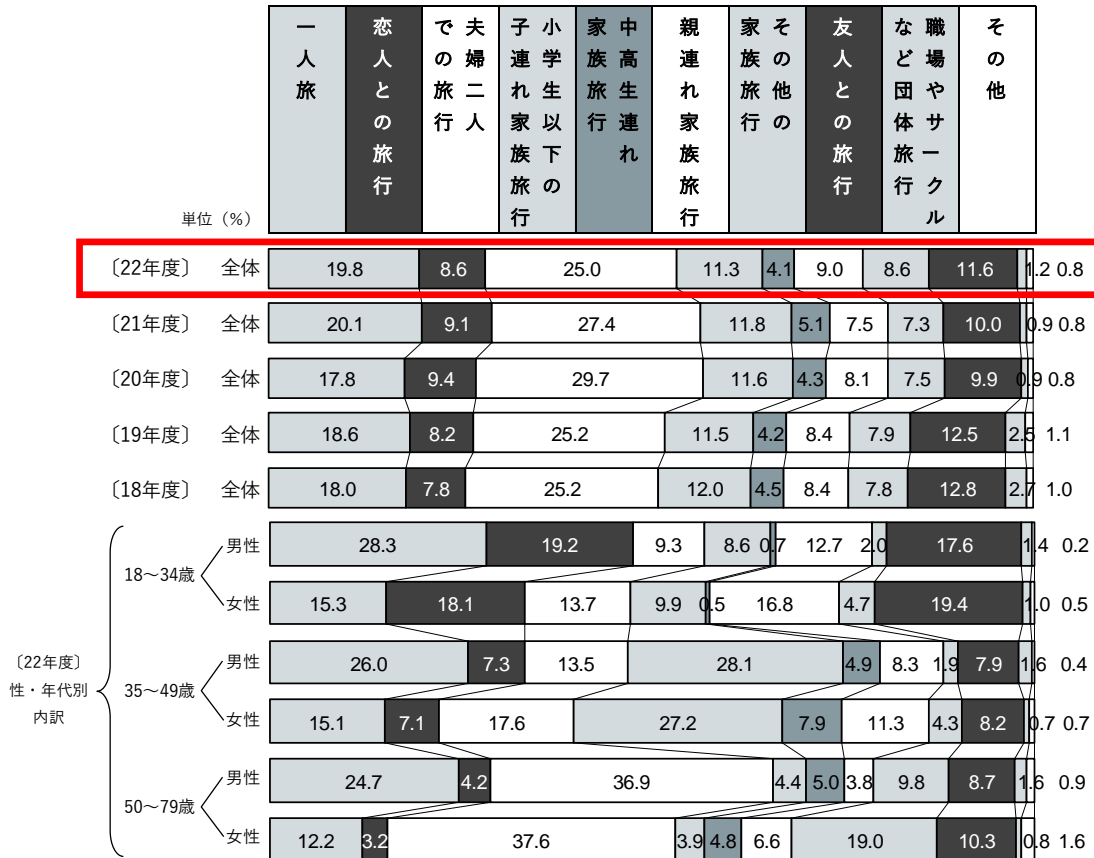
■ 都道府県別の延べ宿泊旅行者増減率・増減数（2022年度 - 2021年度 / 2018年度推計値）（トップ10）

全体		
2022年度←21年度 増加率	増加数	
1位 大阪府	90.9%	347万人
2位 東京都	74.8%	484万人
3位 徳島県	69.8%	31万人
4位 埼玉県	67.4%	48万人
5位 石川県	65.7%	101万人
6位 奈良県	63.6%	44万人
7位 沖縄県	59.8%	170万人
8位 福岡県	59.7%	175万人
9位 愛知県	58.8%	144万人
10位 千葉県	56.8%	172万人

全体		
2022年度←18年度 増減率	増減数	
1位 宮崎県	11.3%	11万人
2位 佐賀県	8.5%	8万人
3位 香川県	▲ 3.1%	-4万人
4位 福岡県	▲ 5.6%	-28万人
5位 愛知県	▲ 6.6%	-27万人
6位 岩手県	▲ 6.7%	-11万人
7位 奈良県	▲ 7.1%	-9万人
8位 秋田県	▲ 7.4%	-8万人
9位 埼玉県	▲ 7.9%	-10万人
10位 高知県	▲ 8.4%	-10万人

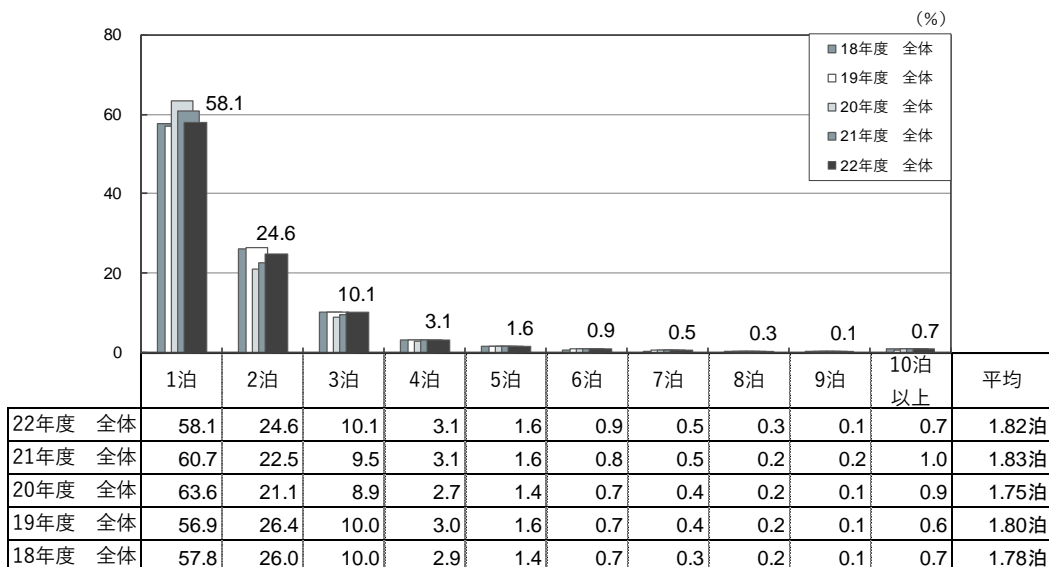
2022年度に実施された国内宿泊旅行のうち、「夫婦二人での旅行」が25.0%。次いで「一人旅」は19.8%で続く。「親連れ家族旅行」や「その他の家族旅行」「友人との旅行」などが微増しており、複数人旅行の回復傾向が見て取れる。宿泊数は平均1.82泊で2021年度と同程度だが、「1泊」の比率がやや減少し、「2泊」「3泊」が増加。9泊以上などの超ロングステイが減少したとみられる。

■ 国内宿泊旅行の同行形態（単一回答／一人当たり最大3回までの旅行件数）



※ 今年度より「中高生連れ家族旅行」に変更。前年度までは「中学生以上の子連れ家族旅行」

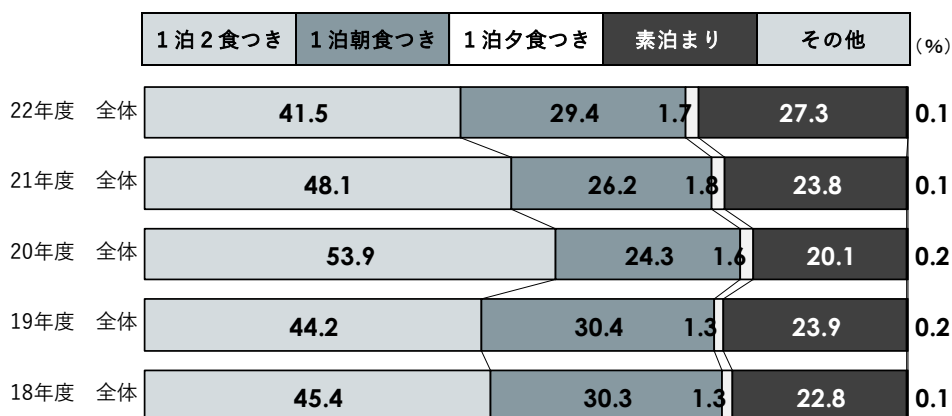
■ 宿泊数（単一回答／一人当たり最大3回までの旅行件数）



宿泊のタイプ

2022年度に実施された宿泊旅行の宿泊のタイプを尋ねたところ、「1泊2食つき」は全体の41.5%を占めた。しかしその割合は2020年度の53.9%から減少傾向にあり、「素泊まり」（27.3%）の割合が増加傾向にあることが分かる。個人旅行における宿の種別に傾向を見てみると、いずれの宿種においても「素泊まり」の割合は増加傾向にある。一方でシティホテル、リゾートホテル、旅館は宿泊費も増加する傾向にあり、食事のつかない「素泊まり」が増える中でも単価は上がり続けていることが見て取れる。ビジネスホテルだけは単価は据え置きに近い状態を保っている。

■ 宿泊のタイプ（単一回答／一人当たり最大3回までの旅行件数）



■ 主な宿泊施設の種類別にみた1回当たりの個人旅行の宿泊費（大人一人当たり）

		22年度	21年度	20年度	19年度	18年度	22-18年度の差
全体	個人旅行の宿泊費（円）	19,900	19,000	18,600	17,500	17,300	+2,600
	「素泊まり」の割合（%）	27.3	23.8	20.1	23.9	22.8	+4.5ポイント
シティホテル	個人旅行の宿泊費（円）	20,700	19,200	18,300	19,100	19,200	+1,500
	「素泊まり」の割合（%）	36.9	34.3	30.9	31.6	30.2	+6.7ポイント
ビジネスホテル	個人旅行の宿泊費（円）	13,100	12,500	11,000	12,300	12,500	+600
	「素泊まり」の割合（%）	49.2	47.3	44.5	43.8	43.7	+5.5ポイント
リゾートホテル	個人旅行の宿泊費（円）	28,200	25,900	24,500	24,400	22,500	+5,700
	「素泊まり」の割合（%）	10.3	8.9	7.7	7.9	8.6	+1.7ポイント
旅館	個人旅行の宿泊費（円）	24,200	23,000	22,900	22,000	22,200	+2,000
	「素泊まり」の割合（%）	4.2	3.5	2.8	3.4	2.9	+1.3ポイント

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>